

[守谷市] 事務事業評価表[A表] 継続・通常

評価区分 通常 成果指標付簡易 簡易 [115]

位置付け	事務事業名	畜犬登録及び狂犬病予防事業 <b>事務事業名</b>			担当	生活経済部 環境グループ	部	生活環境課 内線 142	課		
	総合計画体系	政策	01	安全・安心に暮らせるまち	施策	01	生活環境の保全	基本事業	01	生活公害 <b>基本事業名</b> 止	
	計画年度	昭和 48 年度 ~ 年度		事業区分1	継続	事業区分2	単独	評価類型	未設定	会計区分	一般会計
	財務会計コード	001-040103-03-		外部評価実施年度		外部評価進行管理		経費区分	未設定		
	予算概算要求区分	未設定	成果設定年度		備考						

事務事業の目的と成果・コスト	1 対象（誰、何に対して事業を行うのか）	対象指標名（対象の大きさを示す指標）
	（対象）畜犬の飼い主 （必要な理由）狂犬病予防及び <b>誰、何に対して事業を行うのか、当該事業が必要とされる理由を示します。</b>	A 登録総数 B
	2 手段（事務事業の内容、やり方、手順）	活動指標名（手段や活動内容を示す指標）
	・狂犬病の発生及び蔓延を予防するため、畜犬に毎年1回予防注射を接種させるとともに、畜犬の飼育頭数の把握を行いながら犬の正しい飼い方及び飼い主のマナー向上を図る。 ＜集合注射＞市役所や各公民館もと実施 ＜マナー啓発＞接種登録の際に、正しい飼い方のチラシや市製作の「わんわんBOOK」の配布を行う ＜未登録犬解消＞未登録の飼い主に対しては、集合注射の実施内容が通知できないため、広報紙、HPで周知を図る。 <b>事務事業の内容、やり方、手段等を説明しています。</b>	C 注射総数 D 新規登録数 手段・備考 (課題) 畜犬の登録を行う <b>手段や活動内容を示す指標</b> <b>事業概要の補足説明の他、目標を達成するために解決すべき課題を示します。</b>
3 意図（この事業によって対象をどのような状態にしたいのか）	成果指標名（意図達成度合を示す指標）	
・畜犬に狂犬病予防注射を接種させることにより、狂犬病の発生を防止する。 ・市内の飼育頭数の把握 ・飼い主のマナー向上 <b>この事業によって対象をどのような状態にしたいのか。</b>	E 接種率 F <b>意図の達成度合を示します。</b>	

4 事業量・コスト・指標の推移											
区分	単位	25年度実績	26年度当初	26年度実績	27年度当初	28年度要求	28年度調整	29年度計画	30年度計画	全体計画	
A 対象指標	頭	4,393	4,400	4,333	4,400	4,400					
B 対象指標											
C 活動指標	頭	3,367	3,388	3,190	3,300	3,300					
D 活動指標	頭	382	300	330	300	300					
E 成果指標	%	76.6	77	73.6	75	75					
F 成果指標											<b>各年度のコストや指標の推移が入力されています。</b>
G 事業費	計	千円	1,056	723	566	733	733				
	ア 国	千円									
	イ 県	千円									
	ウ 地方債	千円									
	エ 使用料	千円									
	オ その他	千円	1,056	723	566	733	733				
	カ 一般	千円									
H 正職員人工数	人工		0	0	0	0					
I 正職員人件費	千円		0	0	0	0					
J トータルコスト	千円	1,056	723	566	733	733					
K 臨職賃金等	千円										

ア．国支出金（補助名・補助率）	イ．県支出金（補助名・補助率）	ウ．地方債（名称、充当率）	エ．使用料	その他財源
			畜犬手数料	566

27年度		28年度		29年度		30年度	
事業内容	予算額	事業内容	計画額	事業内容	計画額	事業内容	計画額
旅費	11	旅費	11				
需用費	364	需用費	364				
役務費	328	役務費	328				
委託料	30	委託料	30				
計	733	計	733	計		計	

事務事業評価表[B表] 継続・通常

環境変化	1 事業開始背景・立案事由		2 事業をとりまぐ環境変化と市民 議会の要望		3 過去2年間の事務事業内容の変更点																				
	平成11年度までは茨城県が事業したが、平成12年度から県の委任施することになった。		事業を開始した背景、事業を取り巻く環境変化と市民等からの要望が入力されています。		平成26年度狂犬病予防集合注射に合わせ、ワンワンBOOKを作成し、飼い主に配布した。窓口でも引き続き、狂犬病予防注射を接種した犬の飼い主へ同冊子を配布した。																				
昨年度の評価結果	昨年度の事務事業評価結果を受けて取り組んできた改革改善				改革改善に伴う予算への反映																				
	終了 廃止 休止 改善 統合 現状維持	具体的内容	狂犬病予防注射の接種は飼い主の責務であるため、平成26年度はワンワン「昨年度の評価結果を受けて取り組んだ改善・改革があった場合は、この欄に記入されています。」「現状維持」であっても、それを維持するための何らかの改善が記入されています。		削減額 事業費 ( 千円 ) 人件費 ( 千円 )	増加額 事業費 ( 32 千円 ) 人件費 ( 千円 )																			
目的妥当性(必要性)	1 税金を使って達成する目的(対象と意図)ですか? (事業の目的は、市の役割や守備範囲に合っていますか?)		法定受託事業である(根拠法令 ) 妥当である 妥当性が低い																						
	2 上位の基本事業への貢献度は大きいですか?		貢献度大きい(理由 ) 貢献度ふつう(理由 ) 貢献度小さい(理由 )																						
有効性	3-1 成果は順調にあがっていますか?		3-2 成果がこれ以上向上する余地(可能性)は、ありますか?		毎年度獣医師の協力を得て4日間・15箇所での集合注射を実施しており、これ以上の接種率の向上は難しい。																				
	あがっている 横ばい、停滞している 低下している		成果向上余地・大 成果向上余地・中 成果向上余地・小 無し		有効性(成果)について書かれています。																				
効率性	4 現状の成果を落とさずにコスト(予算+所要時間)を削減する新たな方法はありませんか?(受益者負担含む)		事業費の内訳は、狂犬病予防注射にかかる通知の用紙代・郵便料、犬門標等の作成費が大部分のため、削減余地はない。																						
	ある ない																								
改革・予算反映案【二次評価結果】	改革概要・改革により期待される効果				改革方向性：現状維持 コスト方向性																				
	狂犬病予防法により、予改善・改革がある場合、記入されています。「現状維持」であっても、それを維持するための何らかの改善が記入されています。				<table border="1"> <tr> <td rowspan="3">成果方向性</td> <td colspan="3">コスト方向性</td> </tr> <tr> <td></td> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td style="background-color: black;"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>		成果方向性	コスト方向性				削減	維持	増加	向上				維持				低下		
成果方向性	コスト方向性																								
		削減	維持	増加																					
	向上																								
維持																									
低下																									
改革の時期・スケジュール				改革実施による予算・人員の増減																					
第2・第3四半期：先進事例の情報収集 第4四半期：取り組み検討				特になし																					
改革のスケジュール表																									
実施事項の項目名				27年度																					
				28年度																					
				29年度																					
計画	先進事例等のの情報収集																								
	取り組み内容の検討																								
特記事項																									